

南浦和中だより

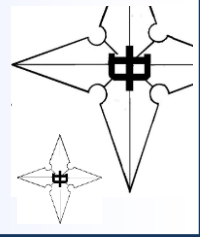
〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909



『RAIN - DANCEがきこえる』

校長 おお こ うち のり かず 大河内 範一



私は意外と雨が好きだ。ちょっと肌寒い日に、しとしと降る小雨もいいし、視界がぼやけるような強い雨もいい。なぜ好きなのかを考えてみた。幼い頃、雨降りでも外遊びができない時に、家の中でワクワクしながら絵本を読んだ思い出からなのか、中学生の頃、休みなく続いていた野球部の練習が雨で中止になり、束の間の休息を得られて喜んだ記憶からなのか、いろいろと考

えてみたものの明確な理由はわからなかった。とにかく、雨音のリズミカルな響きは、私の心にしみわたり、安らかな気分させてくれるのは間違いない。

雨をテーマにした曲を聴くのも好きだ。昔は、小林麻美の『雨音はショパンの調べ』や徳永英明の『レイニーブルー』などを聴いていた（いつものことながら、古い…）。最近では、ゆずの『雨のち晴レルヤ』や久保田利伸の『LOVE RAIN』がよかった（それでも古い…）。雨の名曲も、その時々思い出とともに記憶の中に根付いている。

雨には情緒溢れる呼び名がたくさんあるのを知っているだろうか。色の名前が入ったものも存在しているので、美術の先生らしく取り上げてみよう。

『**紅雨（こうう）**』…春に咲く赤い花に降りそそぐ雨

『**緑雨（りょくう）**』…新緑の季節にしっとりと降る雨

『**白雨（はくう）**』…雨脚が強く白く見える夏の夕立

『**青時雨（あおしぐれ）**』…初夏に木々の青葉から滴り落ちる雨

こんな素敵な呼び名を意識しながら、雨の風景を眺めてみるのもオツなものである。

ディズニーの世界にも雨にまつわる名言がある。「バンビ」の挿入歌にある『**雨が降った後、太陽は再び現れるだろう**』は、困った状況の中でも希望を見出すことができるというメッセージ。くまのプーさんは『**人生に雨が降ったら、水溜りで遊ぼう**』と、辛い状況でもその時だからできることがあると言っている。また、プーさんに登場するロバのぬいぐるみのイーヨーは、『**雨の一番よいところは、最終的にいつも降り止むところなんだ！**』と、どんな苦労でも、どんな困難でも、必ず終わりが来て、きっといいことがあると言っている。みんなポジティブで実に素晴らしい。

最後に日本に伝わる名言を1つ紹介したい。『**雨だれ石をうがっ**』である。「雨だれ」とは、屋根や軒先からぼたぼた落ちる雨のしずくのこと、「うがっ」とは、穴をあけるとか突き抜けるという意味で、「石をうがっ」は「石に穴をあける」ということである。つまり、屋根から落ちる雨だれのような小さなしずくでも、長い間ずっと同じ所に落ち続けると硬い石に穴をあけてしまうということから、小さな力でもコツコツと根気強く努力をすれば、いつかは大きな成果が得られるということを表しているのである。

雨の日も風の日も、どんな時でも人生を楽しもう。未来はいいことだらけだよ。